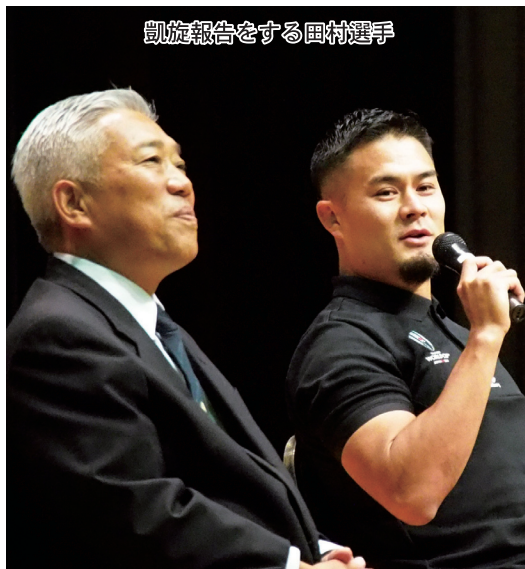


夢をともに叶えよう

ラグビーW杯日本代表 田村 優選手 凱旋報告



南アフリカ戦 代表ジャージを寄贈



凱旋報告をする田村選手



國學院大學
栃木中学高等学校
〒328-8588
栃木市平井町608
☎(0282)225511
校報編集委員会

〈12月の行事予定〉

- 1日 第6回入試説明会(高)
- 2日 美化の日(中高)
- 2日～4日 期末試験(中・高3年)
- 2日～5日 期末試験(高1・2年)
- 7日 GTEC(高)
- 第7回入試説明会(高)
- 8日 第8回入試説明会(高)
- 9日 特別時間割開始～1/16(高3年)
- 14日 第2回入学試験(中)
- 16日 ボキャブラリーコンテスト(中)
- 18日 探究学習発表会(高2年)
- 19日～21日 三者面談(中高)
- 19日 成績判定会議(中高)
- 20日 終業式(中高)
- 23日～27日 冬期講習(中高)

10月29日(火)、本校

四十周年記念館において、ラグビーワールドカップ2019日本大会で活躍をした卒業生の田村優選手の歓迎会ならびに凱旋報告会が行われた。

田村選手は愛知県の出身。中学まではサッカー選手であったが、高校からは父田村誠氏の影響でラグビーに転向。父親の高校時代の同級生である本校ラグビー部吉岡肇監督を頼り、初心者としてラグビーを始めた。吉岡監督のアパルトに止宿し、猛練習を積んだ結果、2年生からレギュラーとして定着。花園出場を果たした。本校卒業後は明治大学に進学し、1年次の早明戦からスタンドオフ・司令塔としてデビュー。四年間「明治の田村」として名をとどろかせ、大活躍した。

その後、トップリーグのNECグリーンロケッツに所属し、エディンジョーンズヘッドコーチ率いる日本代表の一員となり、前回のW杯において南アフリカ戦で歴史的勝利に貢献した。その後キャノンイーグルスに移籍。スーパーラグビーのサンウルブズでも活躍し、今回のW杯では全試合SOとして、初戦からその力を



花束贈呈(B3年北村瞬太郎君)

存分に発揮し、初のベスト8進出の原動力となった。

田村選手の挨拶の後、生徒との間で次のような質疑応答が交わされた。

相当厳しい練習をどのようなにして乗り越えたのか？

「自国開催なのでラグビーで何を犠牲にしても、日本にインパクトを与えたいと思い、歯を食いしばってやることができました」

応援はどのような力になっていたのですか？

「君が代を歌うたびに身体が震えていました。多くのお客さんがいて日本国民全員が応援してくれているように思えました。ラグビー部も全校応援で大きな力になると思います」

—— プロとして心がけていることは何ですか？

「まずは結果を出すこと。有言実行であること。ラグ

ビーでお金をもらっているのですが、その前にラグビーを全力で楽しむことです」

＊ ＊

質疑応答の後、木村好成理事長から佐々木賞が授与され、ラグビー部主将の北村瞬太郎君からは花束が贈られた。それに対して、田村選手からW杯南アフリカ戦で着用した全日本のジャージが寄贈された。最後に田村選手は「みなさんの夢は叶うと思います。僕も諦めずここまで来た。一緒に頑張りました」と在校生にエールを送った。



盛大に見送られる田村選手

台風19号から思うこと(要旨) 全校朝礼 青木一男学校長講話



青木校長

11月1日(金)、四十周年記念館にて全校朝礼と生徒会本部役員立会演説会が行われた。朝礼は先月の台風19号の犠牲者に対する黙祷から始まった。青木一男校長は講話の中で「改めて犠牲になられた方にお悔やみを、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。街の様子を見ると、まだ復興が進んでいない場所もあります。一方で、ボランティア活動をしてくれた人がいます。教育センターが浸水した時も、翌日好文寮の生徒の皆が掃除してくれました。ラグビー部や野球部が被災者の方々のお手伝いをした時も、多くの感謝の声やお礼の手紙等が寄せられました。」

科学技術が発達しても自然の前では無力です。それでも誰かのためにと思う心が人の世を明るくするのだ、と学ぶことができました。(役員の顔ぶれは4面へ)

いることでしょうか。困ったこと等があったら周りの先生に相談してください。挫けず前を向いて進んでいきましょう。

先日、田村優選手が講演に来てくれました。仕事終わりに2時間かけて自分で運転して来てくれたのです。疲れた顔を見せずに講演会、記者会見、応援メッセージの収録をしました。記者会見では『時間があれば栃木市に来て力になりたい』と言ってくれました。さらに翌日には、千葉にボランティア活動に行っていたということです。人のためを思っている行動する、さすが一流の選手だな、と思います。後輩の皆もこの『人のため』という気持ちと述べた。

その後、馬術・書道・天文・社交ダンス、文化祭H R 優秀賞等の表彰が行われ、最後に『トビタテ留学JAPAN』に参加した網本彩音さん(G3)からの報告等があり、朝礼会は終了しました。続いて生徒会本部役員立会演説会が行われ、その後の選挙で新役員が決定した。

第60回 マラソン大会



男子 一斉スタート

第60回全校マラソン大会が、11月14日(木)に実施された。男子は9・3 km、女子は7・4 kmの太平洋山周回コースである。

先月の台風19号の影響により、走る経路の変更も考慮されたが、昨年通りのコースで実施された。

午前9時30分から開会式が行われ、学校長からの激励を受けた後、午前10時に男子が15分後に女子がスタートを切った。

この大会は、個人成績だけではなく、クラスの平均順位を競い合う、ホームルーム最後の学校行事である。昨年の大会から、タイム計測にICチップを導入したため、それまで役員をしていた陸上競技部も参加することができるとなった。ただ、個人成績の順位は陸上競技部員以外の生徒が上位から表彰される。クラス順位も個々人の順位の平均ではなく、陸上競技部員を含めたクラスの平均で競われる。

天候にも恵まれ、大会は大きな事故者もなく無事に終了した。午後から四十周年記念館で閉会式が行われ、ホームルーム上位3クラスの代表者及び、個人3位まで入賞の者に加えて、敢闘賞となった陸上競技部男子上位3名が表彰を受けた。

なお、上位入賞のクラス及び個人名、敢闘賞の上位入賞者は次ページに掲載。



給水所も設置

教務日誌抄 (高校)

(11月)

1日(金)全校朝礼
美化の日

生徒会役員立会演説

会・選挙

2日(土)第3回入試説明会

3年ベネッセ・駿台マーク模試

3日(日)英語検定2次

5日(火)1・2年進研

総合学力テスト

7日(木)9日(土)

イングリッシュキャンプ

(G1・2年)

13日(水)人権教育(2・3年)

キャリア教育(1年)

14日(木)全校マラソン大会

16日(土)2年小論文講演会

17日(日)第4回入試説明会

20日(水)人権教育(1年)

23日(土)第5回入試説明会

28日(木)29日(金)
3年全統センタープレテスト

●各コースは、

次の記号で表示されます。

中高一貫コース	N
特別選抜Sコース	S
特別選抜コース	T
選抜コース	A
グローバルコース	G
文理コース	B

総合成績	
優勝	B 2 年 1 組 (平均51分49秒)
2 位	B 1 年 1 組 (平均52分27秒)
3 位	B 1 年 2 組 (平均53分35秒)
4 位	B 1 年 6 組 (平均54分46秒)
5 位	B 2 年 3 組 (平均54分56秒)



2位B 1 年 1 組 優勝B 2 年 1 組 3位B 1 年 2 組

第60回 マラソン大会 上位成績紹介

男子個人成績 完走者697人	
優勝(35分28秒)	中村 凌介(B 3 年 1 組)サッカー部
2 位(36分00秒)	川久保 翼(B 1 年 4 組)野 球 部
3 位(36分08秒)	小川 楽門(A 1 年 1 組)サッカー部
4 位(36分13秒)	吉田 和(A 2 年 3 組)サッカー部
5 位(36分40秒)	細矢 聖樹(B 2 年 1 組)ラグビー部

<敢闘賞(陸上競技部)>

1 位(31分25秒)	鈴木 景仁(A 3 年 3 組)
2 位(32分44秒)	小野 浩輝(B 3 年 6 組)
3 位(33分21秒)	小野寺 遼(T 2 年 2 組)
4 位(35分10秒)	加藤 翼(B 2 年 3 組)
5 位(35分42秒)	森川 夏杏(A 1 年 1 組)

女子個人成績 完走者453人	
優勝(35分55秒)	山岸 心音(B 1 年 4 組)柔 道 部
2 位(36分33秒)	石垣 凜子(T 2 年 2 組)ラグビー部
3 位(36分37秒)	新美 綾音(B 2 年 1 組)バスケットボール部
4 位(36分41秒)	川島麻優佳(B 1 年 3 組)バレーボール部
5 位(37分09秒)	佐々木理子(B 2 年 3 組)ラグビー部
6 位(37分51秒)	チュク ビンセサニ(B 3 年 5 組)バレーボール部
7 位(37分54秒)	新美 里沙(A 1 年 2 組)バスケットボール部
8 位(37分58秒)	小坂 海歩(B 2 年 1 組)ラグビー部
9 位(38分25秒)	小林 千夏(B 2 年 1 組)バスケットボール部
10 位(38分34秒)	高橋 夏未(B 1 年 6 組)ラグビー部
※女子は陸上競技部が関東大会出場のため、敢闘賞はなし。	

男子個人上位者



2位川久保君 優勝中村君 3位小川君

男子敢闘賞(陸上競技部)



2位小野君 優勝鈴木君 3位小野寺君

女子個人上位者



2位石垣さん 優勝山岸さん 3位新美さん

11月7日(木)から9日(土)の日程で、グローバルコース1・2年の生徒を対象に、鬼怒川パークホテルズにおいて実施された。本校外国語学科教員と外国人専任講師の指導の下、英語におけるコミュニケーション



グローバルキャンプ(集合写真)

Gコース イングリッシュキャンプ



プレゼンテーションのまとめを行う

参加した榎本千恵莉さん(G 2 年)は、「東照宮にきた外国人の方々にインタビュをして、実践的に英語を学ぶことができました。最終日にはその内容をまとめてクラスで発表しましたが、普段の学校生活では得られない、よい体験となりました」と語った。

3日目はインタビュの様子を班ごとにまとめたプレゼンテーションが行なわれ、所期の目的を達成することができた。

2日目は世界遺産の日光東照宮において英語の案内や訪日外国人への直撃インタビュを行なった。

コンテストを行なった。2年生はスピーチコンテストを行なった。

1日目は1、2年生合同での英語の授業のほか、1年生はレシテーションコンテスト、2年生はスピーチコンテストを行なった。

栗原 雪乃(A 2 年)	渡邊 真生(T 1 年)	新井 珠依(A 1 年)	富安 咲紀(S 1 年)	柴 朱里(A 1 年)	齋藤 佑香(T 1 年)	安齊 大和(A 2 年)
菅沼 翔(A 1 年)	渡邊 真生(T 1 年)	新井 珠依(A 1 年)	富安 咲紀(S 1 年)	柴 朱里(A 1 年)	齋藤 佑香(T 1 年)	安齊 大和(A 2 年)

下条 真生(T 1 年)	渡邊 琴美(A 1 年)	柿沼 志帆(T 1 年)
--------------	--------------	--------------

山下 菜月(T 2 年)	大塚 翔吾(N 1 年)
--------------	--------------

第61回全国書道展(大東文化大学主催)では、応募総数約2万5千点の中から13名の生徒が入賞した。

山下 菜月(T 2 年)	下条 真生(T 1 年)	渡邊 琴美(A 1 年)	齋藤 佑香(T 1 年)
--------------	--------------	--------------	--------------

【入選】

第28回国際高校生選抜書展において、4名の生徒が入選した。この大会は「書の甲子園」と呼ばれ、国内外12の国から1万3905点の応募があった。

書道部の活躍

第57期 新生徒会本部役員

11月1日(金)の生徒会本部役員立ち会い演説会・選挙、および6日(水)の代議員会において、11名の新役員が選出されたので、各自の抱負をそれぞれ述べてもらった。今後の活躍を期待したい。



会長 大井 大樹
S 2年

これから一年間、生徒会長として皆さんの高校生活が思い深く、有意義なものになるように全力を尽くしていきたいと思ひます。昨年度、生徒会役員として活動し、培



副会長 森田 結衣
T 2年

昨年度に引き続き、生徒会役員を務めさせていた。たくさんになりました。前回の経験を活かし、文化祭、体育祭を中心に様々な学校行事をより良いものにするために全力を尽くしていきたいと考えています。

これからも生徒会役員としての自覚を持ち、副会長としての責任を果たしていきたいと思ひます。未熟な点も多くありますが、誠心誠意努力し、学校に貢献いたしますので、よろしく願ひします。



副会長 富岡 拓人
B 1年

私は、國學院祭を成功させようと頑張つて働いている先輩方を見て、次は生徒会の一員として来年の國學院祭を先輩方と共に成功させたいと思ひ、立候補しました。役員になる前に、スタッフとして國學院祭の運営を手伝つてきましたので、その経験をこれからに生かしていきたいと思ひます。まだまだ未熟な私ですが、皆さんが充実した学校生活を送ることができるように頑張りますので、どうぞよろしく願ひします。

私には、國學院祭を成功させようと頑張つて働いている先輩方を見て、次は生徒会の一員として来年の國學院祭を先輩方と共に成功させたいと思ひ、立候補しました。役員になる前に、スタッフとして國學院祭の運営を手伝つてきましたので、その経験をこれからに生かしていきたいと思ひます。まだまだ未熟な私ですが、皆さんが充実した学校生活を送ることができるように頑張りますので、どうぞよろしく願ひします。



書記 大塚 万瑠
T 2年

前回、生徒会役員として國學院祭に携つた経験はかけがえのないものになりました。この経験を生かして、國脈を引っ張っていきけるような存在になりたいです。周りに気を配り、積極的な行動をすることを心掛けます。皆さんにとつて高校生活が夢への架け橋となり、充実した高校生活を送ることができるよう全力を尽くすことを約束します。よろしく願ひいたします。



書記 市川 こね
T 1年

これから國學院祭をはじめ、様々な学校行事が待っています。今までは、生徒会の方々が活動しているのを見ていただけでしたが、これから生徒会役員として生徒の皆さんが心から楽しむことができ、一生忘れられるような学校行事を作ります。不慣れなところもありますが、精いっぱい頑張っていきますので、どうぞよろしく願ひします。

これから國學院祭をはじめ、様々な学校行事が待っています。今までは、生徒会の方々が活動しているのを見ていただけでしたが、これから生徒会役員として生徒の皆さんが心から楽しむことができ、一生忘れられるような学校行事を作ります。不慣れなところもありますが、精いっぱい頑張っていきますので、どうぞよろしく願ひします。



会計 森蔭 樹杏
A 2年

前生徒会役員として、文化祭をはじめ、多くの行事において、大変貴重な経験をさせていただきました。これを生かし、効率よく、前生徒会の先輩方のように周りを助け、支えながら仕事をやっていきたいと思ひます。「学校は生徒が作り上げていくもの」をモットーとし、皆さん一人ひとりの意見が尊重され、楽しく過ごせる学校を作っていきます。どうぞよろしく願ひします。



会計 山岸 樹
N 2年

この度、第57代生徒会役員会計になりました。前回も会計として活動しましたが、先輩方に手伝つてもらっているばかりでした。しかし、今度は学年も上がり後輩もできたので、これまでに以上に活動に励んでいきたいと思ひます。皆さんと一緒に様々なことに取り組み、学校生活が充実したものにできるように、精一杯サポートしていきたいと思ひます。がんばります。

この度、第57代生徒会役員会計になりました。前回も会計として活動しましたが、先輩方に手伝つてもらっているばかりでした。しかし、今度は学年も上がり後輩もできたので、これまでに以上に活動に励んでいきたいと思ひます。皆さんと一緒に様々なことに取り組み、学校生活が充実したものにできるように、精一杯サポートしていきたいと思ひます。がんばります。



会計 藤平 麻鈴
T 1年

初めての生徒会役員ですが、会計の仕事はもちろん、それ以外の仕事も責任を持つて一年間やり遂げたいです。そして、伝統ある学校の行事を生徒会だけではなく、生徒の皆さんの意見を取り入れて楽しいものになるように努めたいです。まだまだ分からないことばかりですが、周りの方に協力してもらいながら、一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしく願ひします。



会計 田谷 優香
T 2年

昨年度に引き続き、会計監査として活動させていた。たくさんになりました。伝統ある國學院祭を私たち生徒会が中心となり、さらに素晴らしいものとしていきたいと思ひます。皆さんが充実した学校生活を過ごすことができ、様々な学校行事をより良いものにするために、皆さんの意見を積極的に取り入れていきたいと思ひます。精いっぱい頑張りますので、どうぞよろしく願ひします。

昨年度に引き続き、会計監査として活動させていた。たくさんになりました。伝統ある國學院祭を私たち生徒会が中心となり、さらに素晴らしいものとしていきたいと思ひます。皆さんが充実した学校生活を過ごすことができ、様々な学校行事をより良いものにするために、皆さんの意見を積極的に取り入れていきたいと思ひます。精いっぱい頑張りますので、どうぞよろしく願ひします。



会計 小林 未歩
S 1年

私は、何事にも責任感を持ち、どんな場面においても臨機応変な行動を取り、生徒会で自分の役割を見つけて、あらゆることで学校に貢献し、より良い学校づくりをしていきたいと思ひています。今までの國學院栃木高校の伝統を受け継ぎながら、この学校が全校生徒の皆さんにとつて、さらに快適で楽しくなるように全力を尽くします。一年間、どうぞよろしく願ひします。



会計 加藤 誠也
B 1年

私は7月末から生徒会スタッフとして、生徒会役員や他のスタッフの方と様々な活動をしてきました。そこで先輩方が一生懸命に働く姿を見て、私も役員として仕事をしたいと考えるようになりました。この数か月で身につけたものをこれから活動に生かして、皆さんの高校生活がより良くなるように頑張っていきますので、どうぞよろしく願ひします。

私は7月末から生徒会スタッフとして、生徒会役員や他のスタッフの方と様々な活動をしてきました。そこで先輩方が一生懸命に働く姿を見て、私も役員として仕事をしたいと考えるようになりました。この数か月で身につけたものをこれから活動に生かして、皆さんの高校生活がより良くなるように頑張っていきますので、どうぞよろしく願ひします。

女子バレーボール部 ラグビー部



豪快なスパイクを決める

女子バレーボール部

第72回全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー)栃木県予選決勝、11月9日(土)、清原体育館。今回は宇都宮中央女子高校との対戦となった。

出だしから動きの硬さが目立ち、サーブ・レシーブなどでミス連続。あえなく第1セットを奪われたが、選手にとっては課題が見つかり、冷静さを取り戻すきっかけになった。

第2セットは、レシーブの安定感を取り戻し、中峯ビビ

アン選手(B2年)や大根田妃菜選手(B2年)らの相手ブロックを破る豪快なスパイクで連続8得点、セッター佐藤花優選手(B3年)とチュク・ピヨンセ・サトミ選手(B3年)らによるコンビバレーも機能。完全に試合の流れを取り戻した。

第3セットは18-18から連続6得点、第4セットも14-16からコンビネーションなどで連続7得点。いずれも楽な試合運びではなかったが、最後は実力の高さを証明した。

この結果、日本一の連続出場記録をさらに一つ積み重ね、

2033年連続34回目 2033年連続25回目

優勝

本校3	25	25	25	18
	25	19	16	25
	21			
	1 宇都宮中央女子			

▽結果 決勝

2本目のトライで追加点を奪った。

12-0で迎えた後半はエンジンがかかった。前半にFWとバックスの意思疎通が噛み合わなかったと反省したSH北村瞬太郎主将(B3年)が、2トライを奪った。右プロック

藤倉大介選手(B3年)も後半16分にトライ。合計で5トライを重ねて相手チームを突き放した。鉄壁の守りも披露し、最後まで失点を許さなかった。

この結果、20年連続25回目の全国大会出場を決めた。決勝での完封勝ち3年ぶりと

この結果、20年連続25回目の全国大会出場を決めた。決勝での完封勝ち3年ぶりと

体育部 各部の活躍

女子セブンスラグビー



戦い終えて 女子ラグビー部の勇姿

第2回全国U18女子セブンスラグビーフットボール大会、10月26日(土)・27日(日)、熊谷ラグビー場。

26日に行われた予選プールで本校チームは初戦、福岡選抜に12対41で敗れたが、北海道選抜に48対0と完勝。それぞれの2位チームずつが争う

ブレイトリーナメントに進出。翌日の27日に行われたトーナメント戦で、本校チームはPEARLSに17対5で勝利。決勝に進出したが、追手門学院高校と対戦したが、14対31で破れ、6位に終わった。

陸上競技部 駅伝

11月4日(月)、第34回栃木県高校女子駅伝競走大会、栃木県総合運動公園周回コース(5区間21・097.5km)に出場した本校チーム「山根翠優(B2年)・山崎瑠杏(B1年)・福永琉妃(A1年)・成瀬叶(B3年)・小平花音(T1年)」が1時間19分53秒で第6位の成績を収め、11月16日(土)に裾野市で行われた関東大会に駒を進めた。

その他の活躍

馬術

9月12日(木)・15日(日)つま恋乗馬倶楽部にて行われた全日本障害馬術大会2019に齋藤有里選手(B3年)が出場。この大会は年間の上位ランキング70位以上の者のみが出場できる大会で、齋藤選手はその中で7位に入賞することができた。

天文

10月26日(土)東京未来大学で全国天文愛好者セッションが開かれ、本校の天文部も参加。プレゼンテーションの「動画を利用した流星の分析やポスターセッション」「日食時におけるRGB・SQMの分析」を発表し、今年の4月に他界した海部宣男氏を顕彰する「海部宣男奨励賞」を受賞した。



ボランティアの大切さを語る

11月2日(土)大ホールにて全校朝礼並びに表彰式が行われた。青木一男学校長は講話の中で、台風19号の被害にあわれた方へのお見舞いの言葉とともに、被災直後にボランティアで栃本市内や学校施設内の清掃活動を行ったラグビー部員や野球部たちへの感謝を述べられました。そして、人の世とは大変なことがあっても、そこには必ず助けや光があるものであり、どれだけ科学が進歩し世の中が便利になったとしても、いざというときに皆さんを守ってくれるのは人と人の繋がりでであると話を締めくくった。

全校朝礼



マラソン大会

11月15日、第24回中学校マラソン大会が実施された。今年度は11月にしては暖かい環境のもとで大会が実施され、生徒たちも寒さに震えることなく走ることができた。一方で、今年度の大



先輩の意地、後輩には負けぬ！



独走の館野さん

大会終了後には表彰が行われた。男子の部では3年1組の小口賢輔君が優勝。2位には2年2組の朝妻優

会ではラグビー場を通るなど校内を利用したコース設定となっており、急な坂道が多くなるなど、生徒の負担が大きくなる結果となった。しかし生徒たちは一生懸命に走り、大会に参加した生徒は全員が完走を遂げることができた。



後ろから迫り来るライバル

坂斗君、3位には3年1組の坂本隼君が入賞した。女子の部では1年1組の館野愛依さんが優勝、2位には2年1組の市川沙美さん、3位には1年2組の渥美佳蓮さんが入賞した。1年生が2人、3位以内

新生徒会役員発足

11月1日(金)、生徒会立会演説会および選挙が行われ、新生徒会本部役員が決定した。立会演説会では、積極的に生徒たちの先頭に立つて頑張りたいという立候補者たちが、「学校がよりよくなるために自分に何ができるか」「役員になったら何をしたいか」など、それぞれの思いを力強く語り、活気ある演説会となった。厳正な選挙の結果、新生徒会本部役員として以下の生徒が選ばれた。

会長 金子 佳瑛

(2年1組)

生徒会長の金子さんは、「生徒会長を務めるにあたり、まずは学校全体が今まで以上にボランティア活動に力を入れるようにしたいと考えています。この学校を地域や社会に貢献できる学校にしたいです。國學院大學栃木中学校をよりよい学校にできるよう、一生懸命頑張っていきたいと思います」と意気込みを語っていた。

副会長 館野 愛依 (1年1組)
書記 白井 杏織 (1年2組)
書記 長本 七海 (2年2組)
書記 久米 悠雅 (1年2組)



男子3位入賞者

に入賞するなど女子では下級生の活躍が目立った。見事に1年生で優勝を成し遂げた館野さんには、3年連続優勝の期待もかかっており、今後の活躍が楽しみである。またクラス別の成績



女子3位入賞者

では、3年1組が優勝を収め、最上級生の意地を見せることができた。2位には1年1組が、3位には2年1組が入賞し、下級生も頑張りをみせた。



左から白井・館野・金子・長本・久米 各新生徒会役員

教務日誌抄(中学)

(11月)

1日(金) 生徒会立ち会い演説会・選挙

2日(土) 総合学力調査

2日(土) 美化の日

7日(木) 全校朝礼

7日(木) 第4回入試説明会

8日(金) 校外学習(3年)

8日(金) 校外学習(2年)

9日(土) 校外学習(1年)

15日(金) マラソン大会

30日(土) 第1回入学試験

下野教育書道展 表彰

第52回下野教育書道展が開催され、本校からは6名の生徒が金賞・銀賞・銅賞に入選した。入選者は以下の通りとなる。

金賞 山本 佳奈(1年組)

銀賞 長本 朋夏(3年組)

銀賞 長本 七海(2年組)

銅賞 符 文嘉(2年組)

銅賞 坂本 隼有(3年組)

銅賞 三浦 華穂(2年組)

銅賞以上の作品は11月28日(土)まで城址公園ホール(壬生中央公民館)で、12月7日(土)までいきいきふれあいセンター(黒磯公民館)にて展示される。